

音楽科

I 音楽科の学習目標

- (1) 中学段階では、音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質能力を高める。
- (2) 高校段階では、音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質能力を高める。
- (3) 6年間を通して、音楽に対する感性を豊かにするとともに、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

II 音楽科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学 段階	1年	表現分野 歌唱 独唱、混声三部合唱 器楽 アルトリコーダー、三味線 創作 リズムアンサンブル 鑑賞分野 鑑賞 西洋音楽や伝統芸能の鑑賞	合唱コンクールクラス曲の練習および発表 三味線実技の練習および発表
	2年	表現分野 歌唱 独唱、混声三部合唱 器楽 アルトリコーダー、三味線 創作 リズムアンサンブル 鑑賞分野 鑑賞 西洋音楽や伝統芸能の鑑賞	合唱コンクールクラス曲の練習および発表 三味線実技の練習および発表
	3年	表現分野 歌唱 独唱、混声三部合唱 器楽 アルトリコーダー、三味線 創作 リズムアンサンブル 鑑賞分野 鑑賞 西洋音楽や伝統芸能の鑑賞	合唱コンクールクラス曲の練習および発表 三味線実技の練習および発表
高校 段階	4年	音楽Ⅰ（必修選択／2単位） 歌唱 独唱、混声四部合唱、アカペラ 器楽 三味線、鍵盤楽器 創作 リズムアンサンブル 鑑賞 西洋音楽や伝統芸能の鑑賞 理論 楽典	芸術鑑賞教室 合唱コンクールクラス曲の練習および発表 三味線実技の練習および発表
	5年	（芸術科科目の設定なし）	（芸術科科目の設定なし）
	6年	音楽Ⅱ（自由選択／2単位「 理論 楽典 志望校に応じた入試過去問題演習	入試過去問題演習 個人レッスン

＊ 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 音楽科
科目名 音楽
対象 1 学年全員

I 学習到達目標

（１）曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付ける。（２）音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。（３）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむ。

II 授業の進め方（授業形態等）

グループワーク、ペアワーク、個人練習および講義形式

III 教科書・補助教材

教科書 「中学生の音楽１」「中学生の器楽」教育芸術社
補助教材 「やさしく学べる三味線入門」全音楽譜出版社
「コーラスフェスティバル」「ミュージックノート」正進社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期						
	4	1 学期 期 末 考 査	歌唱 「校歌」 「混声二部合唱曲」 鑑賞 「春」 リズムアンサンブル アルトリコーダー練習曲 楽典 1	コーラスフェスティバル ミュージックノート	6	
	5				4	
	6				2	
	7				2	
二 学 期						
二 学 期						
	9	2 学期 期 末 考 査	歌唱 「独唱曲」 「合唱コンクール練習」 鑑賞 「魔王」 三味線 「さくらさくら」 楽典 2	コーラスフェスティバル やさしく学べる三味線入門 ミュージックノート	4	
	10				4	
	11				4	
	12				10	
					2	
三 学 期						
三 学 期						
	1	3 学期 学年末 考 査	合唱コンクール練習 1 年間のまとめ 鑑賞 「日本の伝統音楽」	コーラスフェスティバル ミュージックノート	8～10	
	2				2	
	3				2	
評 価						
					計 58.5	
評 価						
実技テストや定期考査に平常点（提出物・授業中の活動状況）を加味したものを評価の対象とし、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別に 5 段階で評価をする。						

教科名 音楽科
科目名 音楽
対象 2 学年全員

I 学習到達目標

（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付ける。（２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。（３）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，音楽に親しむ。

II 授業の進め方（授業形態等）

グループワーク、ペアワーク、個人練習および講義形式

III 教科書・補助教材

教科書 「中学生の音楽 2・3 上」「中学生の音楽 2・3 下」「中学生の器楽」教育芸術社
補助教材「やさしく学べる三味線入門」全音楽譜出版社
「コーラスフェスティバル」「ミュージックノート」正進社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題					
	4	1 学期 期 末 考 査	歌唱 「校歌」 「独唱曲」 鑑賞 「西洋の音楽」 リズムアンサンブル アルトリコーダー練習曲 楽典 1	コーラスフェスティバル ミュージックノート	4	
	5				2	
	6				2	
	7				6	
					2	
	夏休み 宿 題					
二 学 期	9	2 学期 期 末 考 査	歌唱 「独唱曲」 「合唱コンクール練習」 鑑賞 「日本の伝統音楽」 三味線実技 練習曲 楽典 2	コーラスフェスティバル やさしく学べる三味線入門 ミュージックノート	2	
	1 0				4	
	1 1				2	
	1 2				5	
					2	
	冬休み 宿 題					
三 学 期	1	3 学期 学年末 考 査	合唱コンクール練習 1 年間のまとめ 鑑賞 「西洋の音楽」	コーラスフェスティバル ミュージックノート	6	
	2				2	
	3					
					計 3 9	
評 価	実技テストや定期考査に平常点（提出物・授業中の活動状況）を加味したものを評価の対象とし、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習 に取り組む態度」の観点別に 5 段階で評価をする。					

教科名 音楽科
科目名 音楽
対象 3 学年全員

I 学習到達目標

（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付ける。（２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。（３）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，音楽に親しむ。

II 授業の進め方（授業形態等）

グループワーク、ペアワーク、個人練習および講義形式

III 教科書・補助教材

教科書 「中学生の音楽２・３上」「中学生の音楽２・３下」「中学生の器楽」教育芸術社
補助教材 「やさしく学べる三味線入門」全音楽譜出版社
「コーラスフェスティバル」「ミュージックノート」正進社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期						
	4	1 学期 期 末 考 査	歌唱 「花」 鑑賞 「ボレロ」 リズムアンサンブル アルトリコーダー練習曲 楽典 1	ミュージックノート	4	
	5				2	
	6				2	
	7				6	
					2	
	夏休み 宿 題		課題			
二 学 期	9	2 学期 期 末 考 査	歌唱 「混声三部合唱」 「合唱コンクール練習」 鑑賞 「ブルタバ」 三味線 「虫のこえ」 楽典 2	コーラスフェスティバル コーラスフェスティバル やさしく学べる三味線入門 ミュージックノート	2	
	1 0				4	
	1 1				2	
	1 2				5	
					2	
	冬休み 宿 題					
三 学 期	1	3 学期 学年末 考 査	合唱コンクール練習 卒業式歌練習 1 年間のまとめ	コーラスフェスティバル ミュージックノート コーラスフェスティバル	6	
	2				2	
	3					
					計 3 9	
評 価	実技テストや定期考査に平常点（提出物・授業中の活動状況）を加味したものを評価の対象とし、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習 に取り組む態度」の観点別に 5 段階で評価をする。					